



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ドリコム

コード番号 3793 URL <http://www.drecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内藤 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長

(氏名) 後藤 英紀

TEL 03-6682-5700

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,865	△9.7	△57	—	△61	—	△26	—
25年3月期第1四半期	2,065	84.8	177	△1.6	176	△1.7	102	△42.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△193.06	—
25年3月期第1四半期	755.62	747.50

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	4,299	2,245	50.5	15,850.03
25年3月期	4,543	2,263	48.3	16,026.25

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,172百万円 25年3月期 2,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,700	△11.2	△300	—	△300	—	△150	—	△1,094.63
通期	10,000	17.8	500	5.4	500	7.5	250	96.8	1,839.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成25年7月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください(通期業績予想については変更ございません)。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	137,050 株	25年3月期	136,975 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	137,033 株	25年3月期1Q	135,575 株

(注)1. みずほ信託銀行株式会社(以下「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式2,332株(議決権の数2,332個)につきましては、上記期末自己株式数に含めておりません。

2. 期中平均株式数には、ESOP信託口が所有する当社株式を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(4) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国の経済は、政策主導による円高修正と株価上昇により景況感の改善がすすみ、景気にも回復の兆しがうかがえるようになってきております。ただ、新興国経済の下振れ懸念もあり、依然として先行きに予断を許さない状況は続いております。

当社の属するインターネット業界は、引き続き著しいスピードで変化をしています。平成25年度情報通信白書によると、平成27年度の国内向けスマートフォン出荷台数は3,700万台に至り、携帯電話の総出荷台数3,950万台の9割を上回ると予測されています。スマートフォンの普及は加速しつつあり、当社の主力事業であるソーシャルゲーム市場においても、国内外ともにスマートフォン対応が進み、市場と機会の双方が拡大しております。

このような環境の中、当社では、一層のスマートフォン向けへの注力を進めております。主力のソーシャルゲーム事業では、前事業年度に海外リリースしたゲームの国内展開開始の他、新作開発を複数本スタートいたしました。ソーシャルラーニング事業でも新規アプリのリリースを行い、アドソリューション事業においては新商材の開発を開始しました。他方、これらスマートフォン向けへの注力により既存ゲームへのリソース投下は縮小させました。結果、リリースからの経年とスマートフォンへの移行が進む環境変化と相俟って、既存ゲームは軟調な推移となりました。総じては、既存ゲームの減収を新規のスマートフォンへの展開で補うには至りませんでした。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,865,447千円(前年同期比9.7%減)となりました。利益面につきましては、営業損失57,785千円(前年同期は営業利益177,601千円)、経常損失61,858千円(前年同期は経常利益176,026千円)、四半期純損失26,456千円(前年同期は四半期純利益102,443千円)となりました。

セグメント実績は以下の通りであります。

①エンタメウェブ

エンタメウェブでは、主力のソーシャルゲームサービス事業において、前事業年度に海外向けにリリースしたスマートフォン向けゲームである「Reign of Dragons(レイン・オブ・ドラゴンズ)」を国内向けに日本語版で「神縛(しんぱく)のレインオブドラゴン」と題しリリースしました。当ゲームは平成25年7月1日段階で50万インストールに達し、海外版と合わせたインストール数は300万に至るなど順調な推移となりました。また、当事業年度中のリリースを目指すスマートフォン向け新作開発として、平成25年7月にTVアニメ放映が始まった「ファンタジスタドールガールズロワイヤル」のほか、複数本をスタートいたしました。他方、収益面で主軸の既存ゲームにおいては、スマートフォン向け新作開発へのリソース投下に注力するため、ゲーム各々に優先順位をつけ、一部ゲームでは人員を新規開発に振り向けました。結果として、「ちょこっとファーム」が堅調な推移となったものの、他はリリースからの経年とスマートフォンへの移行が進む環境変化に抗うほどの新イベントの提供などが行えず、総じては軟調な推移となりました。

中期的な観点で事業開発を進めているソーシャルラーニング事業においては、新たな英語学習アプリ「えいぼんたん」をリリースしました。既存アプリを含む累計ユーザー数は100万人を超え、累計の問題回答数も6億題を超えるに至っております。同事業はソーシャルゲームの手法も取り入れ売上高を伸ばしておりますが、事業開発段階にあり業績への影響は軽微にとどまっております。

以上のことからセグメントでの売上高は1,736,741千円(前年同期比7.4%減)、セグメント損失は3,364千円(前年同期はセグメント利益250,909千円)となりました。

②マーケティングソリューション

マーケティングソリューションでは、アドソリューション事業において、動画を利用したリワード広告の導入促進に努めたものの、前事業年度下期からの一部媒体におけるユーザー数減少の影響が大きく、売上が減少しました。セグメントでの売上高は133,779千円(前年同期比32.9%減)、セグメント損失は54,420千円(前年同期比25.8%増)となりました。

今後につきましては、各事業において、より一層、スマートフォン向けコンテンツ市場の拡大に対応したサービス開発の取り組み強化を図り、サービス運用においてもユーザーの継続利用を促す新たな経験や驚きとともに付加価値向上を目指したサービスの提供を行ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は3,389,889千円となり、前事業年度末に比べ318,573千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が95,669千円、売掛金が254,165千円減少したことによるものであります。固定資産は909,508千円となり、前事業年度末に比べ74,491千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が49,319千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,299,398千円となり、前事業年度末に比べ244,082千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,699,469千円となり、前事業年度末に比べ135,824千円減少いたしました。これは主に買掛金が14,742千円、未払法人税等が91,595千円、賞与引当金が15,242千円減少したことによるものであります。固定負債は354,140千円となり、前事業年度末に比べ90,624千円減少いたしました。これは主に長期借入金が79,739千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,053,610千円となり、前事業年度末に比べ226,448千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,245,787千円となり、前事業年度末に比べ17,633千円減少いたしました。これは主に四半期純損失26,456千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.5%（前事業年度末は48.3%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

急速に進むスマートフォン普及に伴い、当社の主力事業であるソーシャルゲーム市場においても、国内外ともにスマートフォン対応が進み、市場と機会の双方が拡大しております。このような環境下、当社では、第1四半期に一層のスマートフォン向けへの注力を進め、既存ゲームへのリソース投下を縮小させました。リリースからの経年とスマートフォンへの移行が進む環境変化もあり、第1四半期累計期間における既存ゲーム売上は軟調な推移となりました。第2四半期に向けても、スマートフォン向けへの傾注を進める方針であり、既存ゲーム売上の漸減は続く見通しです。さらに、開発中である新作ゲームの提供開始時期を期初計画に比べ遅らせたこともあり、第2四半期累計期間の業績予想が前回予想を下回る見込みとなりました。

他方、開発人員等をスマートフォン向けに傾注することにより、下期におけるスマートフォン向けからの売上は従来計画に比べ増加する見通しです。下期で今回の修正分を補うと見込まれ、通期業績予想には変更はありません。詳細につきましては、本日（平成25年7月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,129,042	2,033,373
売掛金	1,482,279	1,228,114
前払費用	42,569	46,516
繰延税金資産	32,971	53,874
その他	23,902	28,214
貸倒引当金	△2,302	△204
流動資産合計	3,708,463	3,389,889
固定資産		
有形固定資産		
建物	161,584	161,584
減価償却累計額	△28,583	△34,401
建物(純額)	133,000	127,183
工具、器具及び備品	53,168	54,196
減価償却累計額	△38,187	△39,997
工具、器具及び備品(純額)	14,980	14,199
有形固定資産合計	147,981	141,382
無形固定資産		
ソフトウェア	270,065	251,376
ソフトウェア仮勘定	56,812	124,868
その他	897	849
無形固定資産合計	327,775	377,094
投資その他の資産		
敷金	146,040	146,040
繰延税金資産	213,169	227,940
その他	50	17,050
投資その他の資産合計	359,260	391,031
固定資産合計	835,016	909,508
資産合計	4,543,480	4,299,398

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	198,924	184,181
短期借入金	84,500	77,500
1年内返済予定の長期借入金	363,316	352,226
未払金	1,007,463	1,008,981
未払法人税等	93,768	2,172
賞与引当金	24,080	8,838
その他	63,242	65,569
流動負債合計	1,835,293	1,699,469
固定負債		
長期借入金	323,375	243,636
資産除去債務	34,455	34,582
その他	86,935	75,922
固定負債合計	444,765	354,140
負債合計	2,280,059	2,053,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,084,062	1,085,815
資本剰余金	1,325,041	1,326,795
利益剰余金	△63,940	△90,396
自己株式	△149,968	△149,968
株主資本合計	2,195,195	2,172,246
新株予約権	68,226	73,540
純資産合計	2,263,421	2,245,787
負債純資産合計	4,543,480	4,299,398

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,065,542	1,865,447
売上原価	1,208,693	1,365,657
売上総利益	856,848	499,790
販売費及び一般管理費	679,246	557,575
営業利益又は営業損失(△)	177,601	△57,785
営業外収益		
業務受託料	1,200	99
その他	176	272
営業外収益合計	1,376	372
営業外費用		
支払利息	2,879	3,650
その他	72	794
営業外費用合計	2,951	4,445
経常利益又は経常損失(△)	176,026	△61,858
特別損失		
固定資産除却損	160	—
特別損失合計	160	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	175,866	△61,858
法人税、住民税及び事業税	46,403	272
法人税等調整額	27,020	△35,674
法人税等合計	73,423	△35,402
四半期純利益又は四半期純損失(△)	102,443	△26,456

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 損益計算書 計上額
	エンタメウェブ	マーケティング ソリューション	計		
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	1,874,770	190,771	2,065,542	—	2,065,542
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	8,487	8,487	△8,487	—
計	1,874,770	199,258	2,074,029	△8,487	2,065,542
セグメント利益又は損 失(△)	250,909	△73,307	177,601	—	177,601

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 損益計算書 計上額
	エンタメウェブ	マーケティング ソリューション	計		
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	1,736,741	128,705	1,865,447	—	1,865,447
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	5,074	5,074	△5,074	—
計	1,736,741	133,779	1,870,521	△5,074	1,865,447
セグメント損失(△)	△3,364	△54,420	△57,785	—	△57,785

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(4) 重要な後発事象

該当事項はありません。